

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

公益財団法人セゾン文化財団では、2018年度の「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェロー」の一環として、オーストラリアのDancehouseの芸術監督として活動するアンジェラ・コンケをお迎えいたします。

アンジェラ・コンケは2011年からメルボルンのダンス専門劇場、Dancehouseで芸術監督を務め、オーストラリア国内外でインディペンデントに活動し、実験的な作品を創作する振付家やダンサーの公演を手掛けています。また、オーストラリア最大規模の舞台芸術トリエンナーレAsia TOPA 2017では、川口隆夫『大野一雄について』を上演しました。

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、「Body Archives」と題し、文化の継承や保存、革新をテーマに、伝統芸能や舞踏、舞踏以降の様々なダンス、デジタルメディアとコンテンポラリーダンスの関係性について理解を深めるリサーチを行います。

ヴィジティング・フェローでの滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを発見していただくため、多くの舞台芸術関係者と交流していただけます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在期間 2019年1月20日(日)-2月19日(火) 予定
*2019年2月10日(日)、TPAM 2019のPerforming Arts AiR Meetingに登壇予定。詳細はTPAM 2019のウェブサイトをご覧ください。
- 滞在所 森下スタジオ (東京都江東区森下3-5-6)
- 滞在目的 「Body Archives」
文化の継承や保存、革新をテーマに、伝統芸能や舞踏、舞踏以降の様々なダンス、デジタルメディアとコンテンポラリーダンスの関係性について理解を深めるリサーチを行う。



平成30年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」



アンジェラ・コンケ

プロフィール

アンジェラ・コンケ (Angela Conquet) フランス(活動拠点:オーストラリア)

パリ第8大学で国際文化経営の修士号を取得。2005年から2011年までパリ郊外のアートセンター、Mains d'Oeuvresでダンスの芸術監督を務める。

2011年、現職のDancehouseの芸術監督に就任。近年では、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークとダンス映画『坊ちゃんの合宿』を共同制作したほか、香港西九文化区と3ヶ年プロジェクト「Creative Meeting Points: Melbourne X Hong Kong」を実施しているなど、数多くの国際プロジェクトを手掛けている。